青森勤労者山岳会　　2011 年　8 月　1 日　提出　（提出者　M.MINAMI・Y.TANAKA）

| 奥羽交流登山報告書 | 山　名 | 大白森・秋田駒ヶ岳 | 地 域 | 秋田県仙北市 |
|---|---|---|---|---|
| ル ー ト | 鶴の湯温泉⇔大白森　　秋田駒ヶ岳（中生保内コース） | | | |
| 山行期間 | 2011 年　7 月　23 日　～　2011 年　7 月　24 日　（　2　日間　） | | | |
| 参加者名 | CL:M.NARITA　他１０名<br>計11名 | | | |
| *登山口までのｱﾌﾟﾛｰﾁ、登山口の様子* | 弘前労山3名・弘前HC3名・岩手労山7名・秋田労山2名　合計26名 | | | |

大白森：盛岡ICから46号線田沢湖町に入り　341号線国道341号に右折・先達沢交差点右折13kmで左折、鶴の湯木製看板左折、3km鶴の湯林道別館山の宿を経由して鶴の湯温泉へ。広い駐車場に駐車させてもらう。

*コースタイム*　　天気：晴れ　気温26.9℃　（12時現在　田沢湖）

05：01青森IC→06：29岩手P→盛岡IC→08：36鶴の湯温泉09：04・・・09：10鶴の湯蟹場分岐・・・10:39乳頭山分岐10：50・・・11：15小白森山・・・12：00大白森山12：43・・・13：23小白森・・・13：45乳頭山分岐・・・14：53鶴の湯温泉→15：38ホテルタザワ着

*山行記録*　7/23　大白森1,216m　　M.MINAMI記

2台に分乗し晴天の青森を出発、明日の交流登山の前に今日は大白森に登る。登山口鶴の湯温泉に着く。4･10年ぶりに来た人達は、以前との変化も記憶曖昧になっていたりして。トイレ身支度をし、SL:H.Hさん先頭青空の鶴の湯神社鳥居に頭を下げ、新奥の細道を出発。間もなく林道に出た。鶴の湯蟹場分岐の標柱大白森へ4.7k右矢印あるがここは左折し直ぐに右に入る。両脇はアカモノの実が敷かさっている小道を食べながら進む。エンレイソウの実は大人の味？ジガバチソウ花後あり。樹林帯は風も無く暑く衣服調節す。イケマの花も咲き、ここにもアサギマダラ飛来するのかな？などと思いながら。急登汗が落ちる歩みにエゾアジサイの青色が涼しげ。10時過ぎ笹原開けたところから、明日登る駒ヶ岳がパノラマに見え、皆立ち止まって一息。ヨツバヒヨドリ、ノリウツギ、エゾアジサイが登山道を飾り我々を歓迎してくれる。大白森2,2kと乳頭山5,5k分岐で小休憩。イワショウブ・ヤワタソウ・フウチソウ・ヒロハユキザサ・ヒメゴヨウイチゴ実他、初めて見聞きした花達が多く登場。木道になりオオバノトンボソウ・ホソバノキソチドリその他の似たような野性ランもあちらこちらに。リンドウの蕾はまだ見えないが木道脇に並びあと一月余で咲くだろうか。植物の話し盛り上がり　皆知識深く多く、今日も勉強になる。小白森山頂で少し乾ききった湿原を眺めていたら　飛行機雲と彩雲が出ていた。

木道過ぎ、道幅広くなり所々泥濘注意しながら樹林帯を歩き急坂を下り、滑りやすい急登を登ると一面の草原現れた。爽やかな風　白い雲　周りの山々を見ながら木道を歩くと山頂に着いた。ゆったりした気分に浸れる場所だ。途中で追い越していった若い三人が既に食事中、我々も隣でランチ。草原の中で岩手山・八幡平の山々・乳頭山・そして明日登る駒ヶ岳を見ながら和やかタイム。ヤゴの抜け殻見つけたり、そろそろ下山準備をと思っていたら　今度は頭上に日暈が。昔からこれらの現象はめでたい兆しと言われているらしいけど　飛行機雲も幅広くなっているし、雲も低くなってきて、お天気くずれるかもと少々気になる。（夜のうちに雨が降り翌朝は晴れて一安心した。）小白森を過ぎ急坂を下りかかって間もなく13：34成田さん携帯緊急地震速報着信音が鳴り　宮城県沖震度5地震発生と。あ！地面が揺れている。木が揺れているのが見える！。まだ揺れている。「この場所は山崩れも起きないだろうから大丈夫だ。」成田さんの言葉に皆少し落ち着く。それにしても東日本題震災復旧もまだなのにこれ以上地震発生して欲しくないと強く思う。ガラス欠片拾って歩く。往路をおしゃべり楽しく下り登山口に着く。宿泊タザワホテルで入浴。たつこ像他見学へ。残りはツールドモンブランから帰国したばかりのM.Nさんから生の話を聞き「良いね！行ってみたい!!」コール。交流会。天気気にしながら21時就寝。